

古賀総合病院 広報誌

フィオーレ

KOGETA

Vol. 14



Topics

- 新年のご挨拶 社会医療法人同心会 古賀総合病院 院長 今村 卓郎
- 登録医紹介 上野医院 理事長兼院長 上野 尚美先生
- 院内ニュース 総合リハビリテーション室・ストレスケア OT 室土曜診療開始のお知らせ
リハビリテーション技術部
「DM ウィーク イン 古賀」開催報告 古賀総合病院糖尿病教育運営委員会
大宮地区スポーツ・健康フェスタ開催報告 総務課

新年のごあいさつ

古賀総合病院 院長 今村 卓郎



新年明けましておめでとうございます。

昨年を振り返ってみると、古賀総合病院では3月に基幹型研修施設としての卒後臨床研修評価機構（JCEP）を受審し承認を受けることができました。

医師以外の多職種のスタッフが研修医の世話をするというユニークな当院のメンター制度が高く評価され、4月には新たに3名の初期研修医が入職し、2年目研修医と合わせて6名の初期研修医を抱えることになりました。

その結果、研修医や医学生の見学・実習が増え、病院の中に活気が出てきたと感じるようになりました。このような影響もあって2017年度の救急車受入れ件数も2016年に比較して35%増加し、1,249台になっています。

24時間365日の結果ではありますが、働き方改革が提唱されるなか、当直医のみならず看護師をはじめとする職員の皆さんに感謝いたします。

更に今年4月からは4名の初期研修医と2名の一般内科専攻医（専門医制度による後期研修医）を迎える予定です。今年はさらに若手が増え、活力あふれる病院になりそうです。

一方で看護師不足が懸念される昨年でもありました。その中10月にフィオーレKOGA看護専門学校2年生の看護宣誓式（以前の戴帽式）がありました。

ナイチンゲールの像のもとローソクを手に各自が目指す看護師像を宣誓するという厳かな儀式で、看護学生の皆さんが県内で活躍する日が待ち遠しく感じられます。今年もこれからの地域医療を担ってくれる若いスタッフの育成に注力しつつ、元気よく楽しく仕事ができる職場であり続けたいと思います。

最後に今年のゴールデンウィークは新天皇の即位にあたり世の中は10連休になりますが、古賀総合病院、駅前クリニックはじめ同心会の事業所は4/30～5/2及び5/6の4日間を通常どおりに診療し、地域支援病院としての役割を果たしていければと思っています。

職員の皆さんのご協力に感謝すると同時に、地域医療へ貢献するためのエポックメイキングな試みとして地域の皆さんに支持して頂けることを願っています。今年も地域の先生方に少しでも貢献できるよう邁進してまいりますので一年間宜しくお願い致します。

地域医療支援病院（登録医）紹介

医療法人社団百喜会 上野医院

〒881-0104

宮崎県西都市大字鹿野田5579番地1

TEL：(0983) 44-5100

FAX：(0983) 44-5997



理事長兼院長 上野 尚美先生

上野医院は、私の父が昭和35年10月、現在地に都於郡診療所として開業したのが始まりです。私は、平成4年12月から平成10年3月まで古賀総合病院に勤務及び夜間透析を週1回していましたが退職後、上野医院に入職しました。同年10月に循環器内科（人工透析）を開設したこともあり古賀総合病院には縁を感じています。

平成26年8月25日、医療法人社団百喜会を設立して同年11月から新しい上野医院として現在に至っています。事業内容は、内科・循環器内科（人工透析）を開設しスタッフ一同、地域に密着した安心・安全な医療の提供を目指しています。

診療日は、月曜日から土曜日の正午までで、月・水・金は夜間透析も行っています。透析患者やその家族の負担軽減のために送迎車を運行するなど柔軟に対応しています。

古賀総合病院には、救急患者の紹介などを通して大変お世話になっています。患者やその家族の不安を取り除き、地域に根ざした医療を提供し続けるには地域医療支援病院である古賀総合病院との連携が欠かせません。

去る10月31日に地域医療支援協力病院懇談会が開催されました。懇談会では、病院の先生や看護師の方々と沢山の情報を交換することができました。「顔が見える」有意義な時間を共有できたことで更に連携を深めることができたように思います。

この度、このような企画をしていただいた関係者の皆様に感謝申し上げますとともに今後ともよろしく願いいたします。



総合リハビリテーション室・ストレスケア棟 OT 室土曜診療開始のお知らせ

リハビリテーション技術部

この度、総合リハビリテーション室とストレスケア棟 OT 室における土曜日のリハビリテーション業務（以下土曜リハ）を開始しました。

【総合リハビリテーション室】

土曜リハ開始により、今まで関わりが出来なかった週末のリハビリテーション提供が可能となり、より高い機能での早期社会復帰や入院期間の短縮につながることを期待されます。

また、特にニーズが多かった術後早期の患者さんに対する充実したチーム医療の提供や急性期における機能回復を促すことで、寝たきりに伴う二次的合併症、いわゆる廃用症候群の予防を図ることも期待でき、週末でも運動が出来る環境を提供していきたいと考えております。

【ストレスケア OT 室】

以前より、入院患者さんからの希望が多く寄せられておりましたが、2018年7月より土曜リハの提供を開始いたしました。

土曜リハ提供前の入院生活では、週末に行う活動が乏しいため不活発になりがちで、ベッドに横になるなど休息の時間として過ごされる方が多くいらっしゃいました。

土曜リハ提供後は、“1日の生活リズムを作る”ことも目的としている OT 活動に参加することで、日中の活動性を維持し、生活リズムが整うことにより、精神面や体調面での機能改善等も期待できます。また、個別ではなくホールにて集団で行う活動が主であるため、周囲との交流やコミュニケーションの場としても利用できるのではないかと考えております。

土曜日のサービス提供時間は、下記の通りとなります。

【総合リハビリテーション室】

毎週土曜日 午前 8 時 30 分～ 12 時 30 分

【ストレスケア OT 室】

毎週土曜日 午前 9 時 20 分～ 11 時 20 分
午後 1 時 30 分～ 3 時 30 分

なお、土曜リハは入院患者さんに向けたサービスとなります。外来患者さんへの対応は致しかねますのでご了承ください。

今後も様々な形で患者さんのニーズに寄り添い、より良いサービスの提供ができるようリハビリテーション技術部一同、より一層取り組んで参りたいと思います。

地域医療支援協力病院懇談会

地域医療連携室

10月31日（水）ホテルニューウェルシティ宮崎にて、社会医療法人同心会 古賀総合病院の「地域医療支援協力病院懇談会」を開催いたしました。

今年の開催は当初8月22日を予定しておりましたが、台風19・20号が九州地方へ接近の為に、やむなく延期とさせていただく事になりました。

運営委員をはじめ協力病院39施設60名・同心会職員95名、計155名のご参加をいただきありがとうございました。

今村院長の挨拶に続き、地域医療連携統括理事の谷口医師より「地域医療支援病院としてのこの1年間の活動報告」をさせて頂き、地域医療支援病院運営委員長の宮永省三先生（宮永内科クリニック理事長）に乾杯の音頭を取っていただきました。

今回は、会食しながら、当院の診療科6科（外科、消化器内科、循環器内科、内分泌代謝内科、総合診療科、耳鼻咽喉科）の紹介・臨床研修センターの紹介・新入職医師の紹介等をまじえ、終始和やかな雰囲気の中で、協力病院の先生方と同心会職員間で積極的交流ができ連携を深め懇談会を終えることができました。

お忙しい中、ご出席をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今後とも地域のニーズにお応えできる地域医療支援病院として、職員一同、より一層努力して参りたいと思います。



「糖尿病ウィーク イン 古賀」～開催報告～

古賀総合病院糖尿病教育運営委員会

毎年、11月14日の『世界糖尿病デー』を含む一週間を全国糖尿病週間として、全国各地で一般向けの講演会や健康相談、街頭での広報活動など、各都道府県糖尿病協会や友の会が主体となり、地域単位で啓発活動が行われています。今年の第54回全国糖尿病週間は11月12日から18日まで、テーマ「サルコペニア（加齢や疾患などにより筋肉量が減少し、筋力低下や身体機能の低下が起こること）」、標語「筋肉量 保ってのばそう 健康寿命」で実施されました。

古賀総合病院では、昨年独自に糖尿病啓発活動『糖尿病ウィーク イン 古賀』を開催しており、今年のテーマ「サルコペニア」に合わせ、院内各所に理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師が作成したパネル展示を行いました。



展示場所の正面玄関、眼科外来、リハビリ室入り口横、検査室、外来にはパンフレット（サルコペニア・糖尿病とは・合併症・治療・食事・運動など）も用意し、全ての展示パネルを巡回する「スタンプラリー」を実施しました。

一日平均8名の方が参加してくださり、「勉強になった」「楽しかった」「院内を歩き軽い運動になった」などのご意見をいただきました。1日先着10名の方へプレゼント（低カロリー試食品・糖尿食調理本等）を準備し、ご好評をいただきました。

また、今年初めてDVD視聴と体験コーナー（自己血糖測定、体脂肪測定、握力測定、栄養相談）を設けました。体験コーナーは限られた時間（14:00～16:00）でしたが、64名の方にご参加いただきました。糖尿病療養指導士（当会には看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、介護福祉士の有資格者がおります）が日常生活の過ごし方などを伺い、改善の方法などをアドバイスさせていただきました。

準備・運営を行った糖尿病運営委員会スタッフは、皆さんが行っている日頃の工夫や、困り事などを把握させていただく良い機会になりました。今後の療養指導に役立てていきたいと思っております。

次年度もますます活発な啓蒙活動『糖尿病ウィーク イン 古賀』を継続していく予定です。ご期待ください。

～ 糖尿病患者友の会【古賀総合病院はまゆう会】では、会員を募集しています ～

「古賀総合病院はまゆう会」では、毎年レクリエーションを数回開催し、糖尿病予防・合併症の発症・進行予防等の勉強や、患者さん同士・患者さんとスタッフ間の親睦を深め、共に、病気をもちながらも楽しんで生活ができるよう、生活の質（QOL）向上を目標として活動しています。加入ご希望の方は、内科外来へお声かけください。

大宮地区スポーツ・健康フェスタ開催報告

総務課

第10回宮崎市大宮地区「スポーツ・健康フェスタ」が10月20日（土）平和台公園下の大宮公民館体育館にて開催されました。

これは宮崎市「大宮地域まちづくり推進委員会」主催（池田清治会長、小岩屋敏スポーツ・健康部会長）で開催されているもので、第1回は東大宮コミュニティセンターで始まり、今年で第10回と節目の年を迎え、当院も第1回目より参加協力させていただいています。今年は晴天にも恵まれ200名を超える方々にご来場いただきました。

当院からは、今村院長をはじめ整形外科の石原先生、また、研修医の堀口先生、押川先生4名の先生方に参加いただき、多くの方々が健康について相談されていました。

また、今年も32名のスタッフと、フィオーレKOGA看護専門学校の学生9名がボランティアとして参加し、大宮地区の婦人会や敬老会の皆さんと一緒に検査や測定を行いました。今年ご来場された方は、血圧測定183名、身体測定185名、腹囲測定164名、骨密度測定182名、血管伸展性検査165名、運動機能測定139名、認知症相談30名、健康相談43名、栄養相談25名、お薬相談12名、延べ1,128名でした。

各ブースによっては待ち時間が発生する場面もありましたが、メディカルフィットネスの健康運動実践指導者が体操の指導や頭の体操を行い、皆さんお元気で終始にぎやかな会場となりました。



当日、ご協力いただいた大宮地域協議会、また当院職員および学生ボランティアの皆さん本当にありがとうございました。

来年以降も引き続き、地域医療支援病院としてより一層地域に根づいた病院を目指し、地域の皆様の健康に貢献できればと思います。

■ 初めて参加させていただいた初期研修医2名から、感想を伺いました。

「今回、健康相談を担当させていただき、大宮地区の方々の健康に対する意識の高さに圧倒されました。加齢により身体機能の不具合は多少なりとも出てくるものですが、健康フェスタに参加して現在のご自身の状況を知り、食事・運動に気をつけていくことで、元気でいられるということに参加者の方々に教わりました。

治療も大切ですが、その前段階となる予防について改めて考えるきっかけとなりました。機会があればまた参加したいです。」
(初期研修2年 堀口みなみ)

「医師の立場で地域住民の方と交流するイベントに参加するのは今回が初めてでしたが、スタッフの皆さんの助力のおかげで無事に役目を果たすことができました。血液検査の値や身体の不調など、明らかに疾患とまで言えなくても気になっている方は多く、日常診療で顕在化されない方々の声を聞かせていただく良い機会となりました。今後もこのような活動を通じて、地域のニーズに応える医療を提供していきたいと思っております。」
(初期研修1年 押川 隆)

